



富山大学附属病院だより

未来

特集

新しくなった手術室

すべては安心できる手術を提供するために

新たに歩みはじめました

連携病院のご案内「飛騨市民病院」

食と健康「おいしく食べてリラックス」

読むくすり箱「まちの調剤薬局とは？」

診療部紹介「光学医療診療部」

スタッフステーションから

季節のご挨拶

かわら版

Vol. **126**

TOYAMA UNIVERSITY HOSPITAL

2014年5月発行



新しくなった手術室

すべては安心できる手術を提供するために
手術部は高い技術と優しい心で患者さんと向き合います。

患者さんにやさしい 新しい手術室が完成しました

直近の3年間で約900件増えている手術件数に対応する手術部の改築改修工事が、2014年3月で終わりました。これまでの9室から2室増え、それぞれの部屋の面積も約1.5倍になり、全部で11室の新しい手術室が誕生しました。

これにより、最新の医療支援機器を同時に使用するケースにも対応することができるようになり、また全11室で3Dカメラシステムを使用できるようにもなりました。なかでも手術室と透視装置を統合したハイブリッド手術室では、血管造影検査が手術室内で可能となり、これまでよりも高度な血管内手術や、今まで以上に低侵襲な新しい手術ができるようになりました。また、手術室が増えたことで、一刻を争う様な超緊急手術に対しても従来に比べて余裕をもって対応できるようになりました。

手術と聞くと、怖い、冷たいイメージをお持ちではないでしょうか？今回の手術室の改修では、患者さんの不安、恐怖感を少しでも払拭するために、これまでの常識を破って、明るく暖かい色を選んでいきます。また、元気が出ると言われるビタミンカラー（オレンジ、レモンイエロー、ライトグリーン等）も使いました。歩いて手術室に入られる患者さんが増えましたので、少しでも緊張感が和らげば嬉しく思います。また、輻射（ふくしゃ）式空調システムというしくみを用いた部屋もあり、この部屋では冷気が患者さんに当たらないことにより快適な体温を維持することができ、より均質な室温環境で、緻密な体温管理が可能になっています。



3Dカメラシステム

写真提供：ソニー・オリンパスメディカルソリューションズ(株)

医師（執刀医）は高い技術と 優しい心で患者さんと向き合います

手術が安全かつ円滑に遂行できるように外科医、麻酔科医、看護師はもちろんですが、臨床工学技士、臨床検査技師、放射線技師、薬剤師など周術期にかかわるすべての医療スタッフが互いの職務を理解し、その役割分担を明確にし、チーム医療を行っています。

執刀する外科の医師は単に手術をするだけでなく、手術前にはカンファレンスを開いて全員で患者さんに対する治療法、手術法を相談し、最良の手術法を決めて手術に臨んでいます。また手術後は患者さんの状態が安定するまで病院に残って、手術後の管理をしています。手術は、単に手術するだけでなく、手術前の準備や手術後の経過も丁寧に看ることで、患者さんに安心を提供しています。

情熱をもって困難な手術に挑み、内視鏡や手術支援ロボットなど最新の治療ができる高い技術レベルの向上、チーム医療をスムーズにする戦略をもつため、日々努力し、チーム力を培っています。また、治療だけでなく、患者さんの苦しみに共感し、その心に寄り添った上で、高度な医療を施すことができる医師を目指し日々研鑽しています。



患者さんに少しでも安心いただけるようビタミンカラーを使った手術室



ハイブリッド手術室では血管の状態を見ながら手術することができます

看護師は患者さんの安心を支えます

現在手術部には48名の看護師が勤務しています。看護師は手術をスムーズに進行するため、手術全体をマネジメントしています。最も重要な役割は患者さんが安心して安全な手術が受けられるようにすることです。手術の前日までに手術に対する疑問や不安がないか、また皮膚の状態や歯の状態など、直接会って確認を行うために術前訪問を実施しています。

患者さんが手術室に入られるときは、家族の方も安心して送り出せるよう、明るくお迎えするよう心掛けています。手術室での家族看護の一貫として、手術が予定終了時間より1時間以上延長した場合には手術の状況に応じて術中情報提供を行っています。手術が終わるのを待っておられる家族の方の不安が、少しでも解消されるように心配りを徹底しています。

臨床工学技士は手術部の 全ての機器を管理します

臨床工学技士は人工呼吸器や人工心肺装置、心臓ペースメーカーといった生命維持装置などの機器の操作および保守点検を行う医療のスペシャリストです。先進医療機器が欠かせない現代の医療では、医学と工学に精通した唯一の医療専門職であり、非常に重要な役割を担ってい

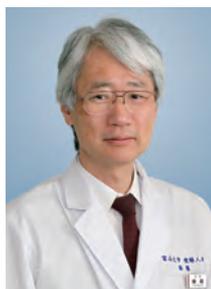
ます。医師や看護師が手術に集中できるよう、緊密な連携を図り、チーム医療に携わっています。

材料部も手術部を支えています

材料部は病院の中でもあまり目立たない部署のように思われがちですが、病院になくてはならない役割を担っています。手術で使用する器具の洗浄やセット組み、滅菌等全ての工程は材料部で行っています。器具の洗浄が確実にされているか、セット内の器具の数や破損がないかを確認しており、縁の下で安心できる手術を支えています。安全な医療器材を提供することにより高い医療水準を維持し、かつ、臨床現場の省力化を推進し、医療サービスの向上に努めています。

すべては安心できる手術を 提供するために

私たちは手術を安全に行うことをモットーに、たくさんの専門家がチームとして一丸となって医療を行っています。患者さんが目を覚ましたときに安心できるように、私たちは手術中はもちろん前後に至るまで全力をあげて多方面からサポートしています。安心の環境と信頼で医療技術の向上に努め、患者さん一人ひとりに向き合う医療を提供することを目指しています。



手術部部长
産科婦人科 教授
齋藤 滋



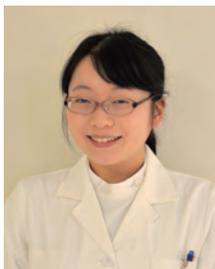
手術部副部长
麻酔科 准教授
釈永 清志



手術部 看護師長
木本 久子

新たに歩みはじめました

感謝の気持ちを忘れず
温かい医療のできる
医師になりたい



初期臨床研修医
菊池 諒子

私は、この春社会人・医療人としてのスタートを切りました。不慣れな事だらけですが、先生や先輩方にご指導頂きながら医師として研修に励んでいます。

私は富山大学杉谷キャンパスで学生生活を送りました。思い入れが深いこの場所で研修医として働けることを嬉しく思っています。私を研修医になるまで育てて下さったのは、富山県の皆さんと富山大学や病院関係者そして患者さんです。これからもこの感謝の気持ちを忘れず多くの事を学び、



日常的に仲間との情報交換を大切に、一日も早く役にたてる医師になりたいと思います

自己研鑽に励むことが、私にできる事だと思っています。

知識・技術力の向上が直近の課題ですが、加えて温かい医療のできる医師になりたいと思っています。この研修が将来に繋がる充実したものになるよう、そして早く皆さんのお役に立てる医師になれるよう精一杯努力して参ります。どうぞよろしくお願いいたします。



日々さまざまなことを学んでいます

この春より富山大学附属病院で看護師としての第一歩を踏み出すこととなりました。

僕は北海道出身なのですが4年前、富山大学医学部看護学科に入学し看護の勉強を続けるうちに富山大学附属病院で働きたいと思うようになりました。

毎日が新しいことばかりでへこたれそうになることもありますが、先輩方の丁寧な指導やサポート、同期の励ましにより支えられています。富山大学附属病院に来られた患者さんが

患者さんが元気になれるような
看護とコミュニケーションを
大切にしたい

看護師
小助川 拓也



元気になれる看護ができるよう日々勉強をしています。

看護師としてコミュニケーションを大切に患者さんが伝えたいことをきちんと伝えることができるようがんばります。まだ、富山弁も勉強中ですので病院で見かけたらどんどん話しかけてくださいね！これからよろしくお願いいたします。

最後に、地元に戻らず富山で就職することを認めてくれた両親へ。「ありがとう、頑張ります。」

岐阜県にある飛騨市民病院さんは、富山大学附属病院と連携をとりながら飛騨地域に住む皆さんに対して、心から安心できる良い医療を提供されている病院です。



地域に密着した温かい医療をめざして

飛騨市は岐阜県の最北端にあり富山県との境にあります。飛騨市民病院は病床数91床（一般床58床、医療療養型病床33床）で、飛騨市のみならず高山市上宝地区および奥飛騨温泉郷を含めたいわゆる「高原郷」という広域の住民の皆様に医療を提供しています。外来部門では常勤医による内科、外科、総合診療科の他、富山大学附属病院から数多くの非常勤専門医の派遣を頂いて地域住民の皆様に幅広い分野での専門治療を提供させて頂いています。当院から紹介する患者さんの約半数は富山大学附属病院となっており大変深いつながりを持っています。特に車で約1時間の高山市や富山市までの間に当院以外に救急対応病院がないこの地域において救急医療の要としての役割を担っています。また「緩和ケアチーム」「栄養サポートチーム」など多くの職種と連携したチーム医療によって、より良い温かな医療の提供を推進しています。超高齢化となった当地域において退院後も安心して暮らせるように、周辺

の介護、福祉施設との地域連携を円滑に行っています。医療設備面においては、平成21年度から電子カルテを導入し、最近では平成26年3月にCT検査装置を80列マルチスライスの高性能機器に更新しました。MRI検査装置(1.5T)や超音波診断装置などの医療機器については最新鋭の設備を備えています。

当院では教育研修にも力を注いでおり、平成24年度より富山大学の臨床実習「神通川プロジェクト」を進め2年間で67名の医学生が当院にて実習し、また岐阜大学の医学生の実習も受け入れています。平成26年度は、富山大学附属病院、高山赤十字病院、名古屋掖済会病院そして大垣市民病院から合計19名と多くの研修医が当院にて地域医療研修をすることになりました。私たちは若き医師たちとともに職員一丸となり地域に密着した温かい安心・安全の医療を提供していきます。

飛騨市民病院 病院長
黒木 嘉人



地域を支える黒木病院長とスタッフの皆さん

- [所在地] 岐阜県飛騨市神岡町東町725番地
TEL.0578-82-1150 FAX.0578-82-1631
- [休診日] 土曜日・日曜日・祝日
- [診療科] 内科・外科・整形外科・眼科・脳神経外科・小児科・呼吸器内科
皮膚科・婦人科・泌尿器科・耳鼻咽喉科・心臓血管外科・緩和ケア
- [病床] 91床





おいしく食べてリラックス

栄養部 栄養管理室長 矢後 恵子

春は入学や就職など環境の変化でストレスを感じやすい季節です。ストレスを上手にとりのぞくためにも、早めの休養や軽い運動をおすすめします。また日頃よりバランスのとれた食事をとるよう心がけましょう。おいしく食べて、心も身体も健康でいたいですね。

リラックスするためにできること

暮らしの中で気をつけること

- ・ 早めに身体を休めましょう
- ・ ストレッチやウォーキングなど軽い運動をしましょう
- ・ 栄養のバランスがとれた食事を取りましょう
- ・ 日光(特に朝)を浴びるよう心がけましょう

食事で気をつけること

- ・ タンパク質食品・野菜類・穀類を組み合わせ、食べましょう
 - ・ 1食の食事量は食べ過ぎないように腹7〜8分目を心がけましょう
 - ・ 塩分はなるべく控えめにしましょう(素材の味を生かした薄味で)
 - ・ 料理の色彩や盛りつけの工夫もぜひ考えてみましょう
- ★ハーブティー・ココア・ホットミルクなどの飲み物やバナナ・チーズなどがおすすめです

リラックス効果のあるホルモン

セロトニンは、脳内の神経伝達物質の1つで、イライラ感を軽減し、リラックス効果があるといわれています。セロトニンが適正に分泌されることで、気持ちが落ち着き、心身の安定が保たれると言われています。

リラックスするために必要な栄養

セロトニンの材料となるのは、必須アミノ酸であるトリプトファンです。必須アミノ酸は体内で合成できないので、食物から摂取しなければなりません。材料となるトリプトファンとビタミンB群、ナイアシン、マグネシウムをとることでセロトニンが作りだされます。これらを含むものに大豆、納豆、豆腐、カツオ、さんま、鶏肉、豚肉などがあります。

リラックスのためのおすすめ料理

納豆はセロトニンの材料となるトリプトファンが豊富に含まれており、そのまま頂けるのが魅力です。そんな納豆を利用した手軽で簡単に出来るおすすめ料理は、栄養的にも頼もしい一品です。



納豆そうめん

■材料/2人分

- そうめん…200~300g
- 納豆(又はひき割り)…2パック
- 万能ねぎ・玉ねぎ・きざみのりなど…適量
- 卵黄(又はタラコなど)…適量
- 麺つゆ…適量

作り方

1. そうめんは好みの硬さに茹で、水洗いし、水切りをしておく。
2. 器にそうめんを盛り、納豆、ねぎ、玉ねぎ、卵黄をのせ、きざみのりを散らし、麺つゆをかける。お好みでごま油やラー油をかけてもおいしいのでぜひお試しください。



フレッシュハーブティー

■材料/1~2人分

- レモングラス…3枚
- レモンバーム…3枚
- ミント…1~2枚
- セージやカモミール
- お好みのハーブ
(エステをうけるような心地のよい香りを選んでください)
- お湯…200cc~300cc

作り方

1. ハーブをちぎってポットに入れ、沸騰したてのお湯をそそぎます。
2. 成分や香りをにがさないよう、すぐにふたをします。2~3分蒸らして、ティーカップにそそぎます。



まちの調剤薬局とは？

Q 調剤薬局ってどんなところでしょうか



A. お薬の安全性がわかります

処方されたお薬の薬歴簿を作成しています。これにより他の病院から処方されているお薬との重複や飲み合わせを確認して、お薬を安全に使用するための注意事項などについて指導していただけます。

Q 調剤薬局はどこにあるのですか



A. FAXコーナーで調剤薬局の場所がわかります

薬局がどこにあるかお探しの場合、外来1階8番窓口「院外処方せんFAXコーナー」で相談してください。また、FAXを利用することで薬の受け取りの待ち時間を短縮することができますので、ぜひご利用ください。



1階総合受付内の院外処方せんFAXコーナー

Q 調剤薬局はどう選べばいいのでしょうか



A. ご自身の都合に合う調剤薬局を探しましょう

調剤薬局は、患者さんが自由に選ぶことができます。「保険薬局」「処方せん受付」などの表示がされており、お住まいの近くや、ご自身のライフスタイルに合わせて「かかりつけ薬局」を選ぶと、より便利にご利用いただけます。

Q 院外処方せんに注意点はありますか



A. お薬は4日以内に受け取りをお願いします

院外処方せんの有効期間は交付日を含めて4日以内となっています。期間をすぎますと院外処方せんは無効となります。できるだけ当日中にお薬を受け取りましょう。また、紛失された場合には、院外処方せんを再発行する必要があります。その際には、所定の料金がかかりますので十分ご注意ください。

Q 後発医薬品に変更できますか



A. 後発医薬品に変更できます

処方せんに先発医薬品がかかっている場合でも、「後発医薬品への変更不可」の欄に医師の署名や押印がなければ、患者さんの同意により後発医薬品へ変更することが可能です。ご意向をお伝えください。お薬によっては後発医薬品が作られていない場合があります。また、薬局に在庫がない場合は、取り揃えに時間がかかることがあります。

Q お薬手帳は何のためにありますか



A. 自分が飲んできたお薬の履歴がわかります

お薬手帳とは服用している薬の名称や用量、過去に経験したアレルギーや副作用等の情報を記録するための手帳です。いくつもの医療機関に受診した際に、お薬の重複を回避できますし、それまでの服薬内容を円滑に伝えることができます。普段からお薬手帳を持ち歩きましょう。特に、複数の医療機関に受診されている場合は、お薬手帳を1冊にまとめて管理することが大切です。

光学医療診療部

光学医療診療部 准教授 藤浪 斗



光学医療診療部は、内視鏡検査室4室、X線検査室1室となりました。また、できる限り患者さんが利用するスペースを広く取り、安心して検査・治療が受けられるようにしました。当診療部は、のど・食道・胃・十二指腸・胆膵・小腸・大腸といった消化器と、気管支・肺といった呼吸器の病気を診断・治療するところです。この多岐にわたる分野の診療に対応するため、当院では複数の診療科(第1内科、第3内科、和漢診療科、第1外科、第2外科)の医師と内視鏡スタッフが日々の診療を行っています。

高い技術とバックアップ体制で 実現する高度な治療

内視鏡医療は常に新しい技術が開発され、複雑・高度化しています。代表的な例としてあげられるのが早期がんの低侵襲治療である内視鏡的粘膜下層剥離術です。特に食道や大腸の治療は難易度が高く、県内でも治療できる病院は限られています。このような高度な医療を行うには、関わるスタッフ全員の高い技術と外科のバックアップ体制が必要です。

また、当院では高度の内視鏡検査・治療が多いという特徴がありますが、患者さんにはその必要性・危険性については担当医が十分な説明を行わせていただいています。しかし、患者さんごとに起こりうる危険性が違ってくるため、もし検査・治療に心配な点がございましたら当診療部までお気軽におたずねください。

時代を担う技術者が未来をつくる

近い将来、内視鏡医療へのニーズがますます高まると予想されます。当診療部では、常に新しい内視鏡医療を多くの患者さんに提供できるように、消化器内視鏡専門医・指導医

18名、呼吸器内視鏡専門医・指導医5名が在籍しています。多様化・専門化する内視鏡検査や治療に対応するため、それぞれの専門医が自らの得意分野に研ぎをかけ診療に当たりながら、次の時代を担う後進の育成にも力を入れています。また、ますます専門性が必要とされる内視鏡介助のプロフェッショナルである内視鏡技師の充実も図っています。今後ともスタッフ一同で、よりよい内視鏡医療を提供するために努力を続けてまいります。



最新の医療機器がならぶ内視鏡透視室



メディカルスタッフ ～臨床心理士から～

患者さんの心に寄り添い、一緒に考える。
患者さんのよき理解者でありたい。

総合診療部 臨床心理士 密田 博子

「人が治る」という時の第一歩は、患者さんが「自分をわかってくれた」「受け入れてもらえた」と実感した時であると言われています。総合診療部のカウンセリングでは、まず、目の前の患者さんの話に耳を傾け、よき理解者になることから始めています。そして、患者さんの気持ちに寄り添いながら、患者さんの「うまくいかなさ」の原因を探したり、その対処の仕方について一緒に考えたりしながら、問題解決のお手伝いをしています。このような関わりを通して患者さんは、自身の力で本来の自分らしさを取り戻し、回復し、成長していっているように感じています。



患者さんの悩みを丁寧に聞く密田臨床心理士

スタッフステーションから

いつも笑顔で、お子さんとご家族とともに

南2階病棟には、小児科を中心に外科や耳鼻科、皮膚科など様々な診療科のお子さんが入院しています。慣れない入院生活で不安や緊張でいっぱいのお子さんに、少しでもリラックスして検査や手術を受けて頂けるように、処置時にはお気に入りの歌や玩具等の遊びを取り入れ、いつも笑顔での対応を心がけています。また、病棟では保育士さんが年代や活動制限にあった楽しい遊びを提供しています。治療のため長期入院となる場合には、院内学級での学習も受ける事ができるなど、退院後のスムーズな復学につながるようになっています。

お子さんの病気の治療はもちろん、子どもたちの成長に応じた丁寧で安全なケアをするために、ご家族の皆さんとともに歩んでいきたいと思っています。



南2階病棟の皆さん

患者さん一人ひとりにあった最善の看護



北2階病棟の皆さん

北2階病棟は、脳神経外科・神経内科・総合診療部・臨床腫瘍部・感染症科の混合病棟です。

周術期の患者さんや放射線治療を受ける患者さん、点滴治療を受ける患者さんが入院されています。

私たちは、患者さんの状態の変化に細心の注意を払いながら、食事や清潔、移動動作の安定など日常生活への復帰に向けた看護や、機能回復に向けた看護を行っています。リハビリテーションにおいてはわずかな回復にも共に喜び、患者さん一人ひとりにあった最善の看護に努めています。また、1日も早く回復し患者さんそれぞれの生活の場に戻るよう医療福祉サポートセンターと連携をとりながら退院支援に取り組んでいます。

看護師はエネルギーあふれる若いスタッフから、看護経験豊富なスタッフまでバラエティに富み、患者さんとご家族が、安心して療養生活を送れるように日々頑張っています。

医療のヒント

皆さんにとって安心の医療につながるために役立つ情報をお知らせします。

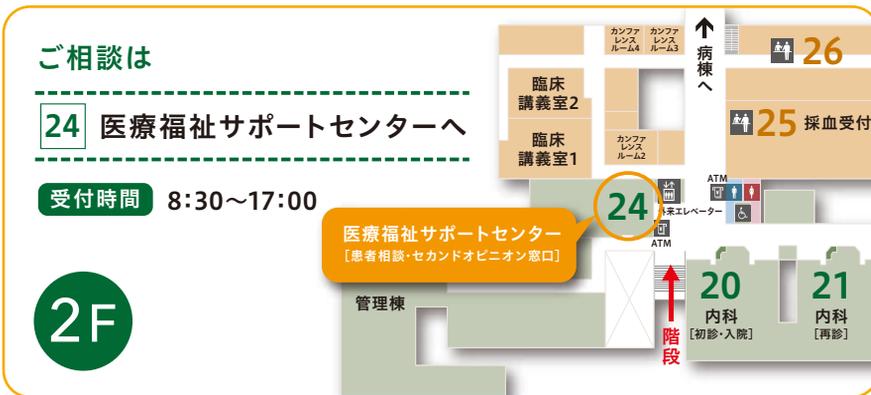


安心のためのセカンドオピニオン外来

専門医の意見を聞くことで、さらに安心して治療を受けられるようになります。

●まずは相談してみませんか？

紹介状が必要となりますので、現在通っている病院の担当の先生にご相談ください。本院では医療福祉サポートセンターでセカンドオピニオン外来についての説明やお申込みの受付を行っておりますので、ご不明な点はお気軽にご相談ください。（電話やFAX、E-mailでも、セカンドオピニオン外来をお申込みいただけます。）



セカンドオピニオン外来では検査や治療は行いませんので、どうぞご了承ください。

本院の患者さんが他の病院へセカンドオピニオンをご希望される場合は、まず担当医にお気軽にご相談ください。

患者さんにやすらぎと癒しを提供したい

財団法人立仁会

本財団は富山大学附属病院の患者さんと職員に癒しをお届けすることや援助を行うことなどを目的として、ドトールコーヒー運営、自動販売機管理、イルミネーション設置、駐車場管理運営を実施しています。

平成19年に開設したドトールコーヒーは、品質にこだわった一杯のコーヒーを通じ、患者さんや職員にやすらぎと癒しをお届けしています。自動販売機事業についても、日々の継続したきめ細かい心配りはもとより、消費電力削減への取り組みとなる、日中の電力使用を抑えたピークシフト自販機の導入や、昨年には災害時における飲料等を無償で提供する災害時協定を結び、附属病院に協力をさせていただいています。

また昨年12月から3月までの間、病院玄関ホール中庭にLEDで彩る「光の庭園イルミネーション～雪の森で遊ぶ動物たち～」を設置させていただきご好評いただきました。なお、附属病院を含む杉谷キャンパス構内全域の駐車場整理業務も実施しています。

今後も患者さん、職員及び学生の皆さんから広くご意見をうけたまわりながら富山大学附属病院とのさらなるパートナーシップ向上を目指し、「質の向上」また「常にホスピタリティを基本としたサービス」を提供してまいりますので、皆さんの一層のご理解とご支援、ならびにご指導をお願いいたします。



やすらぎを提供するため品質にこだわるドトールコーヒー



本院とともに皆さんへサービスを提供する立仁会の皆さん



病院長 塚田 一博

大学附属病院の未来に向けて

富山大学附属病院の周辺が最も美しい新緑の季節が始まりました。最近では病院内を眺めながら、遠くない未来にこの場所が「富山大学附属病院タウン」になり、病気に関わらずこの地域に住む皆さんにとって過ごしやすい場所になることを夢見ています。この構想をベースに進めている工事ですが、ようやく北病棟の工事が終了し、南病棟から一体化した病棟となりました。手術室11室の増改築とともに最新技術を提供することができるようになり、病気を治す環境として良くなってきています。

これからも医療本来の質の向上を目指し、各診療科あげて更なる内容の充実に力を注いで参ります。また一方では外来棟の改修や立体駐車場の増設というハードな部分の工事が始まります。もうしばらくの間、ご理解とご協力をお願いいたします。

さて、大学病院の大きな使命のひとつに先進医療の推進があげられます。今年度も昨年に引き続き薬学部、工学部との共同研究を進めてまいりますし、県内に重点をおき企業との研究開発を進めています。難治性の疾患や高度に進行した病気に対しては、近い将来治すことがで

きるよう積極的に研究などを進めています。また本院は、皆さんとの良好な関係を築くことがよりよい結果を得る道と考えています。二十一世紀半ばの新しい時代に向けての病院のあり方を含め、皆さん一人ひとりにあった治療を追及してまいります。

最後に、今号からかわら版の名前が「希望」から「未来」に変わりました。昨年まで描いてきた「希望」を胸に、すべての人の「未来」につながる医療とは何かを常に考えて、全職員と共に積極的に動いてまいりたいと思います。



キャンパスを彩る色とりどりの花々

事務職員も変わります

富山大学附属病院副病院長として事務を担当しています。

病院の中の事務部門は、患者さんとともに医師、看護師、薬剤師、その他多くの医療従事者が病気に対峙する際に発生する事務的業務を行うだけでなく、より円滑かつ迅速に患者さんと医療従事者が病気に立ち向かえるよう“先を読んだお手伝い”をするのが、病院事務職員の仕事です。

成功の反対語は失敗ではなく、何もしないことです。失敗からは“経験・教訓”というものが得られますが、何もしなければ何も得られません。本院の事務職員は、一人ひとりが“与えられた仕事をこなすだけ”でなく

“今何をすべきかを常に考えて行動する”ことを心がけています。

今回のかわら版から表紙の文字も“希望”から“未来”に変わっています。希望をもち未来へ、次の時代へ挑戦することにより希望と未来が見えてきます。

低温が続く寒い冬が去り、瞬く間に桜の季節も過ぎていきました。四季の鮮やかな富山ですが、季節の変わり目は、体調の維持が難しい時期ですので、ご自愛くださるようお願いいたします。



副病院長(事務担当) 山崎 勝治

病院事務部長

病院までのアクセスについて

…… 病院への案内標識

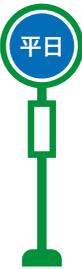


交通機関をご利用の場合 [JR富山駅より] 富山地铁バス(3番乗り場)で30分
[富山空港より] タクシーで20分



バス簡易時刻表

富山大学附属病院から → 富山駅前・小杉駅前・高岡駅前へ



- 富山駅前行** 始発:7時20分 最終:21時15分
●約30～40分おき ●19時以降/約60分おき
- 小杉駅前行** 始発:7時35分 最終:16時15分
●約60分おき ※9時および11時～13時台の運行はありません
- 高岡駅前行** 始発:8時45分 最終:17時40分
●約60分おき ※10時～11時、15時～16時台の運行はありません

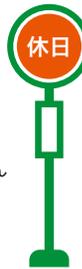


- 富山駅前行** 始発:7時30分 最終:21時10分
●7時～8時/約30～50分おき
●9時以降/約60分おき
- 高岡駅前行**
●9時50分 12時25分 14時30分

富山駅前・小杉駅前・高岡駅前から → 富山大学附属病院へ



- 富山駅前発** 始発:6時55分 最終:20時45分
◎富山駅前バスターミナル 3番のりば
●約30～40分おき ●19時以降/60分おき
- 小杉駅前発** 始発:7時10分 最終:16時35分
●約60分おき ※9時および11時～12時台の運行はありません
- 高岡駅前発** 始発:7時40分 最終:16時25分
◎高岡駅古城公園口側ターミナル 2番のりば
●約60分おき ※9時～10時および14時～15時台の運行はありません



- 富山駅前発** 始発:7時00分 最終:20時40分
◎富山駅前バスターミナル 3番のりば
●7時/約30～50分おき
●8時以降/約60分おき
- 高岡駅前発**
◎古城公園口側ターミナル 2番のりば
●8時50分 11時25分 13時40分

2014年5月 現在



ご案内

立体駐車場の建設について

現在、病院外来棟向かい側の外来患者用駐車場に立体駐車場の建設を計画しています。今年6月から工事が始まり、12月にはご利用いただく予定です。これにより駐車場の収容台数は約250台となり、現在の駐車スペース不足が解消されます(駐車料金に変更はございません)。また、車椅子の方専用の駐車場や、幅3mのゆとりのある駐車スペースのほか、エレベータも完備しているため、歩行困難な患者さんにも安心してご利用いただけます。

さらに、平成27年の夏には、立体駐車場と外来棟をつなぐ連絡通路が完成し、駐車場から雨に濡れることなく外来棟に行くことができますようになります。

工事期間中はご不自由やご不便をおかけしますが、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

